

桑名市行政改革推進委員会 会議概要

日時・場所	令和8年1月23日(金) 14:30～15:45 桑名市役所 3階第2会議室
出席者	委員：6名 市：8名
会議次第	1 市長挨拶 2 委員紹介 (1) 委員長及び副委員長の互選について 3 議題 (1) 「持続可能な未来の市役所へ」
概要 (主な意見)	<p>1. 人材・働き方について</p> <p>多様な人材の活用と副業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副業や外部登用、国・県・民間との人事交流は積極的に進めるべきであり、外の世界を見ることや客観的な視点で市役所を改善してもらうことが重要である。 ・副業や外部人材のシェアリングを成功させるには、業務の切り出し、リモートワーカーのマネジメント、そして失敗を組織の学びとして蓄積する体制が必要である。 ・職員自らが副業などを通じて地域の担い手となり、地域との関係性を強めることが、結果として市政の巻き込み力向上に繋がる。 <p>働き方の多様化とAIの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材不足への対応として、定年延長、若手の早期登用、フレックスタイム制、週休三日制など、多様なニーズに応える働き方を打ち出す必要がある。 ・今後の自治体のポイントはAIの活用であり、全庁的に広めることが働き方改革に繋がる。 <p>広域連携による業務シェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道、公共交通、病院など、親和性の高い分野から近隣自治体とシェアリングや広域連携を進め、コスト削減と住民サービス維持を両立させるべきである。 ・業務単位で市町村から県へ事務を戻す、あるいは県に主導を求めるような広域的な役割分担も、現在の時代背景では有効な選択肢となる。 <p>人材確保と自治体の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の公務員離れや人口減少を見据え、「職員が生き生きと働く姿」を外部にみせる努力をし、魅力ある自治体として情報を発信しなければならない。 <p>2. 施設のあり方、行政のあり方について</p> <p>本庁舎機能とオフィス環境の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT (Wi-Fi等) 環境を整えることがまちの活性化に不可欠である。 ・過去の失敗 (テクノロジー不足や紙文化) を教訓にしつつ、現在の進化したICT環境下では、柔軟なオープンスペースの活用が期待できる。 <p>窓口・支所 (出先機関) のあり方の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併前の旧町村役場をそのまま支所として維持する慣習を見直し、「施設」ではなく「行政サービスの維持・向上」を目的とした再編を検討すべきである。 ・市単体の施設だけでなく、民間施設や他行政機関との連携を含めた検討が必要である。 <p>「行かない窓口」とデジタル化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議自体も対面だけでなくZoomなどのオンラインを柔軟に活用し、移動のコストを削減する視点が求められる。 ・一方で、対面を重視する層とデジタル化を推進する層のギャップなど、変革に伴う現場の課題にも留意が必要である。